

4月の行事予定

- 4月1日 国民健康保険全市実施
- 4月1日 小学校入学式
- 4月4日 ジフテリア予防注射
- 4月7日 母子福祉大会
- 4月14日 小児麻疹予防注射
- 4月15日 春季清潔検査始まる
- 4月中旬 国民金融公庫融資受付開始
- 4月20日 郵政記念日
- 4月29日 天皇誕生日

予算審議始まる

災害復旧を重点に

市長提案理由を説明



※ 第一回定例会は三月十二日開か...
※ ...
※ ...
※ ...を次のとおり説明しました

地域性をもり

政府の昭和三十五年度財政運営は、景気の刺激を避けるため健全財政の堅持を基本方針とし、災害復旧と国土保全対策に最重点を置いて経費及び資金を配分しておられます。

地方団体においても国の予算編成を参考として、現在の経済動向を充分考慮の上地域性をもつた予算をつくらねばならないと思ひます。

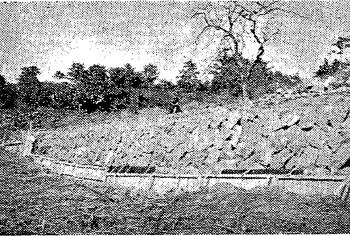
三十五年度は地方税などの収入については、本年度当初の見込額にくらべ相当額の増収が見込まれますが、他面災害復旧事業の増加人事院勧告にもとづく国家公務員に準ずる地方公務員の給与改訂など、義務的経費の増加は相当額にのぼると予想されます。

しかし当分は現行制度により、これらの事情を充分考慮のうえ所要の財源を確保し、年間をつうずる財政収支の均衡を保持することが必要だと思ひます。

健全財政で

本市においても限られた財源で歳入の構成割合は

市税	二八%
国庫支出金	二二%
市庫交付税	二八%
市債	五%
財産収入	四%
雑収入	三%
県支出金	三%



【復旧した丸岡線】

プールや講堂を

昨年より一、四六〇万円の増

土木費

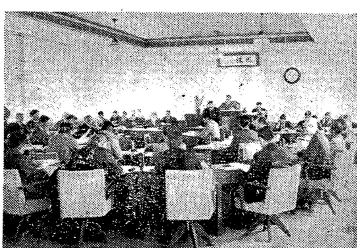
前年度より四八〇万円増加し、道路維持修繕はほとんど失業対策事業により向け、新設改良費も維持修繕に重点を向け、港湾費、お正配置転換などの諸措置を推進し経営の合理化をはかりたいと思ひます。

消防費の増加分は可搬ポンプ二台の購入と消防詰所改築などを予定してあります。

教育費

前年度より五二九万円の増額で消費的経費はすべて前年並に抑制し、急を要する施設設備に重点を向け、小学校管理費に一三三万、(西目小学校給食室、鶴小渡り廊下、阿小便所、集小水道工事)を計上しました。

中学校費においては不足している備品費などに四三万円、新しくくつりあげられた技術課程備品に六〇万円を予定しています。つきに本年度は多年の懸案であ



教育費	一九%
産業経済費	一二%
土木費	二七%
公債費	七%
議会費	三%
消費費	二%
消防費	二%
保健衛生費	一%

社会及労働施設費

生活保護費は昨年或る程度過大であったので、本年度は確実な見通しで計画、少々減じました。が、厚生費五二万円、失業対策費一九〇万円増加しています。その内訳は前年度二〇〇人の枠の二二〇人引上げや、トラック、コンベヤ、軽軌条などの購入費であります。

産業経済費

前年度より一、七七八万円の増額で、農業費においては昨年建設鋭意努力中の土壌研究室の整備拡充をはかり、施肥改善の合理化を促進しながら、防犯費の一環としての水稲早期栽培の奨励費を始め、特産物の育成などに重点をおき本市産業振興の発展を期し、農家所得の増大をはかりたいと思ひます。

水道特別会計

上水道勘定、黒之浜、脇本、尻無の各簡易水道勘定は一二五二万二千円で、昨年より一、三三二万五千円の減ですが、これは尻無簡易水道が三十四年度中に済み償還金だけが残ったためであります。上水道勘定で四一〇万円の増は赤瀬川附近の住宅地その他の給水状況不良箇所を改良するための大曲の復旧工事費と、戸前業前より港までの補装工事にともの工事を実施するためであります。

国民健康保険

本年度から阿久根市全域実施にともなう大はりの増額でありまして、画期的な大事業を実施するわけで、本制度が順調に進展するよう、みなさんの御協力をお願いいたします。

入選者発表

- 市農業委員会では市の農業振興を推進するために広く論文を募集していましたが、たくさんの方の応募作品を審査の結果次のとおり入選者を発表しました。
- 一位 本町 川畑 文平
- 二位 山下 有馬 昭利
- 三位 山下 小園 千勝
- 四位 尾崎 盛永
- 五位 折口 光雄

農地相談室

【問】 私は金銭による小作料は納めずに甲所有の水田2アールの植付けを準備(肥料は甲が提供)するに口約束で契約し、他の水田1アールを借りて耕作してきました。

【答】 あなたは金銭では小作料を支払っていませんが、甲所有の水田2アールの植付けを準備して実行しているのだから、口約束であっても労働提供となり、農地法違反ではあるが無効規定がないので賃借借契約となり小作料を支払ったこととなります。

完成した 鹿児島銀行



鹿児島銀行阿久根支店は3月旧同店あとに鉄筋コンクリートの近代的ビルが完成し、阿久根市目め通りに美観をそえました。

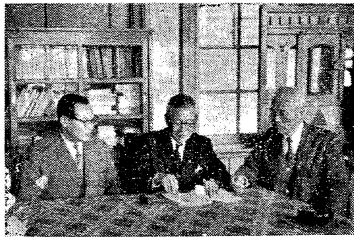
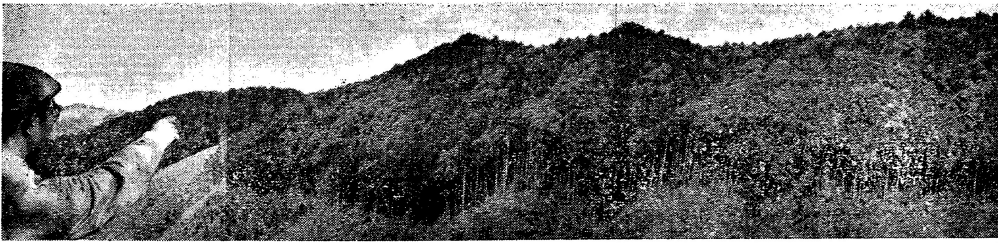
市の財源に慈雨

国有林払下げ

※ 市長は2月29日熊本官林局において、地元官林署
※ の協力により国有林払下げについて契約調印し、
※ 限られた市の財源にうおいをもたせることにな
※ りました。

折衝をかさね

市長はこんどその打解策の一端として、手近な市町村建設促進法による国有林払下げを中央官林局と熊本官林局に再三折衝をかさね奔走を続けてきました。
途中いろいろの難関もありましたが去る2月29日熊本官林局において市長は議長立会のもとに金山国有林を立木を含め、土地とも払下げること契約調印しました

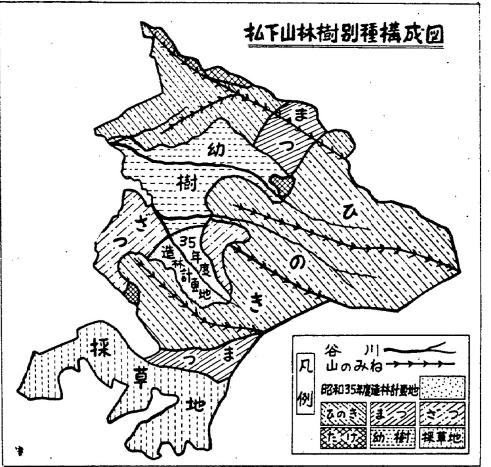


【市長調印】

七四町六反

市街地より東へ11軒の鶴川内田代地区にあつて、野田村に面する国有林に隣接する丘陵地帯であります。

土質は大部分礫石安山岩より構成され、土壌は得植樹土壌で林木



の成育はたいへん良好であり、ほとんど適正伐期令以上の樹木おほわれ、ひのき75%、まつ15%、つ10%の割合になっています。全材積は七万三千石以上に及び面積は七四町五反九畝一九歩にわたる広大な地域であります。

これが学校に道路に

土地と七七七百万円で払下げ

医療費も半額

健康保険いよく発足

国民健康保険は四月一日より市の全地域に実施されることになりました。これで病気の苦しみは、医療費の半額が負担となることになり、緊急を要する場合は、阿久根市に住民である人は次の人を除いて全部被保険者になります。

他の社会保険（共済組合、船員保険、日雇労働者保険など）に加入している人及びその扶養者

生活保護を受けている人

保険証は大切に

すでにお手もとに被保険者証を配付しましたが、これは病気の苦しみをおし、保険で治療を受けるための大事な証書ですから大切に保管してください。

治療を受けるときは必ず医師に被保険者証を提示して所定の

〇円、死亡したときは五〇〇円、死亡したときは五〇〇円、死亡したときは五〇〇円

〇円、死亡したときは五〇〇円、死亡したときは五〇〇円、死亡したときは五〇〇円

奨学生を募集

高校 一、〇〇〇円
大学 二、〇〇〇円

市の奨学生資金は昨年まで高等学校月五〇〇円であったのを、今年と今年昭和35年度阿久根市奨学生を次の方法で採用いたします。希望者は市教育委員会事務局までお届ください。

資格
本市在住者の子弟で高等学校または大学並びにこれに準ずる程度

〇円の助産手当及び葬祭料がもらえます。

出産のときは助産婦または医師の証明書、死亡したときは戸籍簿の証明書を被保険者証と印鑑を添えて市の保健課に提出してください。

旅行中治療を受け、保健証の提示ができれば、医療費を全額支払はれた場合は、所定の用紙で診療内容を明記した医師の明細書に領収証を添えて市保健課に届けてください。

市は保険給付制限の治療費を除きその半額を支払います。

これは利用できません

同じ病気のやがてで保険により治療を開始した日から三年を経過したら保険では治療はできません。

故意の犯罪行為によつて発生した病気のやがて（自殺行為、闘争、泥酔、著しい不行為）

次の場合は暫定の制限事項として、この場合は三万円を超える場合には三万円にとりかえられます。

被保険者一人につき二〇〇円

世帯別平均四〇〇円

右の四つを合計して課税されますが、これが三万円を超える場合には三万円にとりかえられます。

世帯別平均四〇〇円

世帯別平均四〇〇円

世帯別平均四〇〇円

世帯別平均四〇〇円

世帯別平均四〇〇円

世帯別平均四〇〇円

世帯別平均四〇〇円

世帯別平均四〇〇円

世帯別平均四〇〇円

世帯別平均四〇〇円

世帯別平均四〇〇円

世帯別平均四〇〇円

度の試験場、研究室などに籍があり、学術または技能優秀な身体健全で、将来社会に貢献することのできると認められる者のうち、経済的理由によつて修学困難と認められる者

奨学金の額
●高等学校 一、〇〇〇円
●大学 二、〇〇〇円

選考方法
高等学校では出身中学校長、大学では出身高等学校長の推薦、学業成績、資産、家庭状況、身体検査などを参考に市奨学金例にもとづいて予算の範囲内で決められます。

提出書類（用紙は教育委員会に準備してあります）
●奨学生採用願
●身体検査書
●奨学生推薦書
●書類提出期日 4月15日

決定通知
5月中旬頃本人宛通知します。

資金返還方法
高校または大学卒業後一ヶ月目から返還を始めてください。

重復貸付は受けられません。
日本育英会または県育英会奨学金などを借りている人はこの奨学金は借りられません。

保険税は毎年五月、八月、十月、十二月の年四回に納めることになり、課税されてから世帯員に出産死亡、転入があられた場合には課税額は変更できませんが世帯員全部が異動する時は月割となります。その他は地方税法による取扱を受けます。この後お困りのときやご不審の場合には、遠慮なく保険課にお問合せください。

働らきながら
高 校

県立阿久根高等学校の通信教育部では三十五年度の入学希望者を募集しています。

通信教育部の制度は普通の高등학교と変わりなく働らきながら高等学校卒業の資格を得ることができ、大学受験の道も開かれています。

働らきながら勉強したい人はぜひこの機会にこの制度を利用し入学されることをお奨めします。

なお只今市内の在学学生は三十二名で今年の三月には二名の卒業生を出しています。

詳細は阿久根市加治屋町一〇七鶴丸高校通信教育部または阿久根中学校吉村先生にお問い合わせください。

照明コンクール
3月10日、11日の2日間わたりに阿久根地域の商店照明コンクールを行いました。

賞状
●市賞 崎村履物店
●商工賞 玉屋昌服店
●九電賞 神川業商店
●努力賞 上三垣商店
中島電気商会

賞状
●市賞 崎村履物店
●商工賞 玉屋昌服店
●九電賞 神川業商店
●努力賞 上三垣商店
中島電気商会

賞状
●市賞 崎村履物店
●商工賞 玉屋昌服店
●九電賞 神川業商店
●努力賞 上三垣商店
中島電気商会

賞状
●市賞 崎村履物店
●商工賞 玉屋昌服店
●九電賞 神川業商店
●努力賞 上三垣商店
中島電気商会

賞状
●市賞 崎村履物店
●商工賞 玉屋昌服店
●九電賞 神川業商店
●努力賞 上三垣商店
中島電気商会

賞状
●市賞 崎村履物店
●商工賞 玉屋昌服店
●九電賞 神川業商店
●努力賞 上三垣商店
中島電気商会

賞状
●市賞 崎村履物店
●商工賞 玉屋昌服店
●九電賞 神川業商店
●努力賞 上三垣商店
中島電気商会

賞状
●市賞 崎村履物店
●商工賞 玉屋昌服店
●九電賞 神川業商店
●努力賞 上三垣商店
中島電気商会

賞状
●市賞 崎村履物店
●商工賞 玉屋昌服店
●九電賞 神川業商店
●努力賞 上三垣商店
中島電気商会

賞状
●市賞 崎村履物店
●商工賞 玉屋昌服店
●九電賞 神川業商店
●努力賞 上三垣商店
中島電気商会

賞状
●市賞 崎村履物店
●商工賞 玉屋昌服店
●九電賞 神川業商店
●努力賞 上三垣商店
中島電気商会

賞状
●市賞 崎村履物店
●商工賞 玉屋昌服店
●九電賞 神川業商店
●努力賞 上三垣商店
中島電気商会

賞状
●市賞 崎村履物店
●商工賞 玉屋昌服店
●九電賞 神川業商店
●努力賞 上三垣商店
中島電気商会

賞状
●市賞 崎村履物店
●商工賞 玉屋昌服店
●九電賞 神川業商店
●努力賞 上三垣商店
中島電気商会

賞状
●市賞 崎村履物店
●商工賞 玉屋昌服店
●九電賞 神川業商店
●努力賞 上三垣商店
中島電気商会

賞状
●市賞 崎村履物店
●商工賞 玉屋昌服店
●九電賞 神川業商店
●努力賞 上三垣商店
中島電気商会

賞状
●市賞 崎村履物店
●商工賞 玉屋昌服店
●九電賞 神川業商店
●努力賞 上三垣商店
中島電気商会

川内日光博は
3月20日より
5月8日まで

防火ポスターに入選
県では春の全国火災予防運動の一環として防火ポスターを募集しましたが、市内より次のとおり入選しています。

特選
大川中 一年 神ノ田輝雄

佳作
大川中 一年 川畑 広行
西目小 六年 高口 良彦

香典返し寄附
大丸町土田伝蔵さん（金物商）は母堂カッさんが去る三月二日な

おくやみ（2月分）
花田 セイ 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助

花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助
花田 太郎 大川 乙助